



いよいよ42日間の夏休みに入ります。長い夏休みを有意義に過ごすためには、安全・安心が第一です。交通安全、水難事故防止はもとより、新型コロナウイルス感染症や熱中症にも十分な警戒が必要です。学校では、夏休み中も「マスク・手洗い・間をあける」、「汗をかいたら、ぐっっと1ぱい」の合い言葉を続けて、健康で安全な生活を心がけるよう指導しています。ご家庭におかれましても、特段のご配慮をお願いいたします。

5年宿泊学習も「制限と突破」

<6月30日(木)～7月1日(金) 於 山口県スポーツ交流村>

今年度の教職員のキャッチフレーズは、「子どもたちの笑顔と伸びのために **制限**と**突破**」です。新型コロナウイルス感染症や熱中症の予防と安全対策を講じながら、3年ぶりに5年生の宿泊学習を実施することができました。



出発式では、2日間で5年生に出してほしいことを3つ話しました。

- ★ 声を出せ！（挨拶・返事、自分の考え）
- ★ 汗を出せ！（体を動かす、働く）
- ★ 知恵を出せ！（活動の工夫や協力）

【1日目】



子どもたちは、ふるさと光の自慢の一つである美しい海でのマリンスポーツ体験を満喫しました。「やっぱ、自然はすごい。」とつぶやいた子もいました。終始、笑顔と歓声がいっぱいでした。

【2日目】



朝食も黙食ですが、和気藹々の雰囲気でした。午前には、ネイチャークラフトで素敵な作品を制作し、思い出を形にすることもできました。

5年生にとって、かけがえのない体験ができた2日間でした。

宿泊を含む集団生活を通して、「**空気（雰囲気）を読む**」ことも学びました。次は、「**先を読む**」「**人の心を読む**」ことを意識して生活してほしいという願いを伝えました。